



出雲エリア

全国で最も天に近い神殿

主祭神 大国主大神による国譲りの代償で、天にも届く高さの神殿が造営されたと『古事記』や『日本書紀』に記される**出雲大社御本殿**。現在の御本殿は国宝に指定され、高さは24m。神社建築では国内最大の高さを誇ります。



定時ガイドツアー

出雲大社ご参拝定時ガイド

地元ガイドさんと一緒に正しい作法でご参拝できます。

出発時間	10:00～、13:00～、15:00～ (2019年6～7月、12～3月は実施なし)
料金・コース	500円/人(中学生以上)、約90分
集合場所	神門通り観光案内所(神門通りおもてなしステーション)
お問合せ	0853-53-2298(神門通りおもてなしステーション)

新時代を迎えた出雲大社で縁結び祈願

今年3月、平成の大遷宮が完遂した出雲大社。そして時は令和へ。新たな時代に祈りを捧げてみませんか。



いづもおおやしろ 出雲大社

これだけ知って参拝を

主祭神 大国主大神

農耕や医業の知識などを人々に伝えて、国を造られたとされています。おおきな袋と打出の小槌を持って米俵の上に立つ「だいこく様」の姿もおなじみです。



なぜ、出雲大社が縁結びの聖地に？

大国主大神は目に見えない世界(神々の世界)を司る神とされることから、出雲に神々が集うと伝承が生まれ、江戸時代には縁結び信仰となって広まったと考えられています。

出雲には神無月はありません

全国の神々が集うとされる旧暦10月は出雲では神在月(かみありづき)と呼ばれます。出雲大社での神々の滞在は旧暦10月10日から1週間です。※今年の神在期間は11月6日から13日です。



八百万の神々が滞在中に宿泊される「十九社」

参拝の心得

- 鳥居をくぐる前に「脱帽、一礼」
- 参拝前は手水舎でお清め
- 1. 右手でひしゃくを持って水をくみ、左手を清めます。
- 2. ひしゃくを持ち替え、右手を清めます。
- 3. 再度持ち替え、左手に水を受け、口に含んで清めます。
- 4. 左手を清め、ひしゃくを立て、残った水で柄を洗い清めます。
- 出雲大社での参拝は「2礼4拍手1礼」



美しく調った境内で身も心もすっきり

神様への挨拶を忘れずに

- ① **勢溜の大鳥居**
出雲大社の参道入り口となる勢溜の大鳥居。鳥居をくぐる前に脱帽、一礼を。

祓え給え 清め給え

- ② **祓社**
お祓いの神様が鎮座する祓社では心静かに2礼4拍手後に手を合わせ、心の中で「はらえ給え、清め給え」と3回唱え1礼を。



3つに区切られた松の参道。

- ③ **松の参道**
真ん中は神様の通り道。鳥居をくぐったら両端の参道を歩きましょう。

撮影スポットとしても人気

- ④ **ムスビの御神像**
大国主大神が結びの力を授かった神話を物語るご神像。

参拝前には忘れずに立ち寄りを

- ⑤ **手水舎**
神前に進む前に手と口を清めましょう。

感謝の気持ちを忘れずに

- ⑥ **拝殿**
戦後建てられた木造の神社建築では国内最大とされる拝殿。参拝時には神様へ感謝を。



縁結びの神様のお住まい

- ⑦ **御本殿**
御本殿は大国主大神のお住まい。神様は西向きで鎮座されているとか。

全国の神々につながるお社

- ⑧ **十九社**
旧暦10月10日から1週間、神々のお宿となる十九社。

稲佐の浜の砂はここに

- ⑨ **素鷲社**
素鷲社の軒下に稲佐の浜の砂をおさめ、置いてある同量の砂を持ち帰ると良いという信仰も。

圧巻! 13.6mの大注連縄

- ⑩ **神楽殿**
結婚式や団体祈祷などが執り行われる神楽殿の注連縄は全国最大級。

こちらチェック!

良縁を予言!! ウサギの石像

境内では『因幡の素戔』にちなんだウサギの石像が点在。神話によればウサギは大国主大神に救われた後に良縁を予言したとか。



高層神殿の証 巨大柱を公開中

境内の宝物殿で展示中の「心御柱(しんのみはしら)」は、かつて高さ48mの御本殿を支えていた巨大柱の柱根とされています。

